

令和8年度 添田町立図書館 図書館で楽しむ音楽会

添田町読書会 活動開始 50 年記念音楽会 悠久の歴史を紡ぐ

体験 雅楽のしらべ



日程 2026年 11月8日 (日)

開場 13:30

開演 14:00

* 途中休憩なし。

今回の音楽会は三管（ひちりき 箏、しょう 笙、りゅうてき 龍笛）の演奏会をおこないます。

楽器の体験ができる時間があります。

出演 天理関門雅楽会のみなさん

入場料 無料

会場 添田町立図書館 集会室

参加申込受付中

定員になり次第締め切り

演奏者 天理関門雅楽会

平成13年(2001)、発足。発足後は北九州市内の小中学校、神社のほか、公共イベントなどあらゆる場で演奏を行っています。演奏を通して、地域の人々と触れ合う喜びを大切に日々活動しています。



参加申込受付中 どなたでも参加できます。(定員 70 名) 小学3年生以下は保護者同伴でお願いします。

問い合わせ・参加申込は (お名前と連絡先電話番号をお知らせください)

添田町立図書館 電話0947-82-4800 FAX 0947-82-4808

Mail tosyokan@town.soeda.fukuoka.jp

●日本の伝統音楽を知る「雅楽」

雅楽は千年以上前から受け継がれてきた日本の伝統音楽です。飛鳥時代から平安時代にかけて朝鮮半島や中国大陆から雅楽を奏でる楽器とともに音楽、舞が伝わり、宮廷音楽として整備される中で日本独自の発展を遂げました。

雅楽は主に楽器だけで演奏する「管絃^{かんげん}」と音楽に合わせて舞を奏する「舞楽^{ぶがく}」から成ります。

図書館で楽しむ音楽会では「管絃」の三管の演奏をお楽しみいただきます。

●主な演奏曲目 越殿楽^{えてんらく}（雅楽で最も有名な曲） 陪臚^{ばいろ}（古典の有名な1曲）

^{りょうおう}
 陵王（古典の舞楽曲で今回は演奏のみです）

雅楽の魅力に迫る。 雅楽には指揮者がいません。演奏は静かに始まり、静かに終わります。

■^{かんげん}管絃とは

吹き物(管楽器)、弾き物(絃楽器)、打ち物(打楽器)の3種類の楽器で演奏します。この編成は西洋音楽のオーケストラと同じで、明治時代初めにオーケストラが日本に導入された時、雅楽の「管絃」に音楽の「楽」を付けて「管弦楽」と翻訳されました。

1. 吹き物(管楽器/三管)



(1) 笙(しょう)

雅楽独特の雰囲気醸し出す唯一和音を奏する楽器です。リードが湿ると良い音が出ないので、演奏前に火鉢等で暖めて乾燥させます。また吹いても吸っても同じ音が出ます。



(2) 篳篥(ひちりき)

雅楽の主旋律を奏でる縦笛です。長さ18.5cmと比較的小さな竹製の縦笛で、演奏前にリードを湿らせることで吹きやすくなります。西洋音楽のオーボエと起源が同じです。



(3) 龍笛(りゅうてき)

広い音域を持ち、旋律に彩りを添えるように演奏される横笛です。横笛にはほかに、神楽笛や高麗笛があります。

*リードはとても薄く小さな板で、息を吹き込んだ時に振動することで音が鳴り、管体全体に伝わって豊かな響きが生れます。